

COLUMN A POST

律設中に駅のオ

7,8,9階よろ

外壁型板ガラ:

敷地概要:読売会館と有楽町 配置図 S=1/4000(A1)





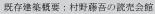






有楽町駅の目の前に位置し、JR高架線路のカーブに呼応した曲線を一辺とする三角形状が特徴的

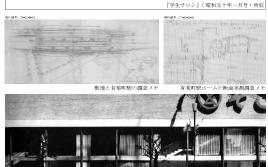
立面計画:水平性が強調されたファサードに対して新たな動きが挿入される 立面図 S=1/300(A1)



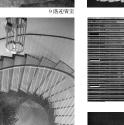


[現:読売会館・ビックカメラ有楽町店 竣工年 1957 所在地 東京都千代田区有楽町 1-11-1 設計 村野藤吾 施工 清水建設 敷地面積 3,313 m 建築面積 3, 313 m 延床面積 30,815 m 構造 鉄骨鉄筋コンクリート造 規模 地下2階・地上8階

「私が一番非難をこうむったのは有楽町のそごうですね。(中路)あそこではビロティーのことも考えたので すが、この三角の敷地というものは表面積の割に建物の面積が少なくなるわけですね。ところが百貨店とい うのはある面積を確保しないと百貨店にならんわけです。(中路)そこで私どもはそごうの当事者といろい ろと研究して、面積では百貨店の戦艦をつくるつもりでやっていける計画をたてたのです。(中路) だから 批評する方がむちゃですよ。」







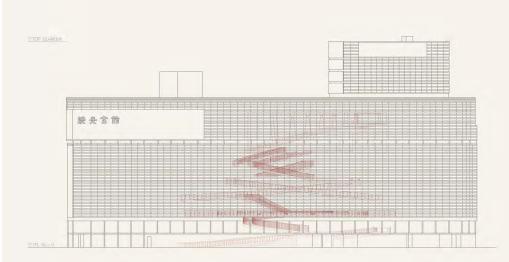
TUUUU

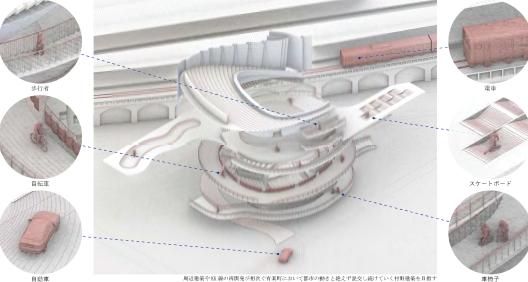
よみうりホールロビー階段



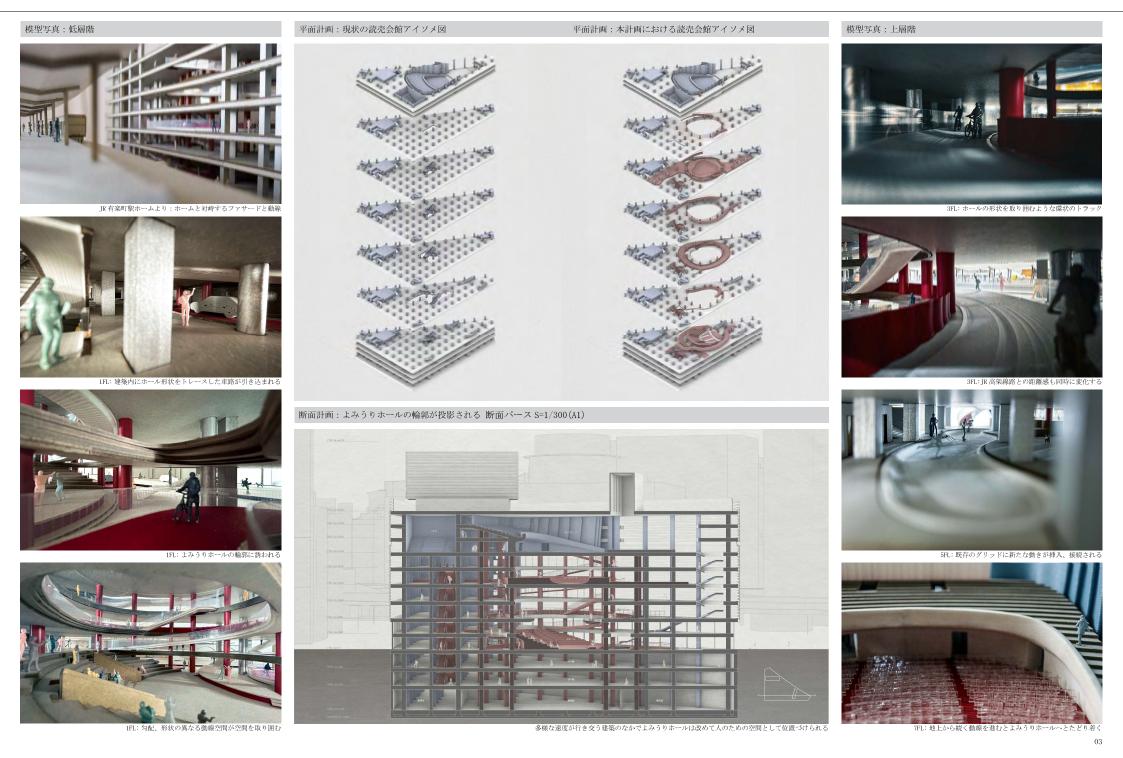
ス張りで階段が前面道路から見えた

動線計画:建築と多様な速度が混交する





読売会館更新計画 - 速度を内包する建築 -



読売会館更新計画 - 速度を内包する建築 -

